

加古隆

ソロ・コンサート2014

クレーと 北斎を弾く

昨年が、パリでのデビューから40周年のアニヴァーサリーだった加古隆。ひとつの節目を越えて、今年は自身の原点とも言うべき、ピアノ・ソロでのコンサートを披露することになりました。作曲家でありピアニストとして活躍する加古隆には数多くの作品があり、その中には絵画からインスピレーションを得て作曲した楽曲もあります。今回は、スイスの画家パウル・クレーの絵と、

日本の浮世絵師の代表格である葛飾北斎などの版画を題材に、クレーの絵から感じた《詩=ポエム》や、浮世絵からは江戸の風景や当時の時代への憧れ《感動=エモーション》が鍵盤から弾きだされます。また、代表曲「パリは燃えているか」や「黄昏のワルツ」の他、10月4日全国東宝系で公開となる映画「蝸の記」(小泉堯史監督)のために作曲した音楽を初演致します。

加古隆 (作曲家・ピアニスト)

東京芸術大学・大学院作曲研究室修了後、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に進み、巨匠オリヴィエ・メシアンに師事。現代音楽の作曲家の道を目指す一方、1973年にパリでフリー・ジャズのピアニストとしてデビューするという特異な経歴を持つ。'76年作曲賞(Prix de Composition)を得て音楽院を卒業。クラシック・ジャズ・現代音楽を包含した音楽スタイルで活躍し、「ピアノの詩人」とも評される。

ピアノ・ソロ曲からオーケストラを含む様々な分野の作品、「博士の愛した数式」などの映画音楽、NHK「映像の世紀」などのドキュメンタリー映像の作曲も数多い。2013年はデビュー40周年の記念に、エイベックス・クラシックスより、ベスト盤「ANTHOLOGY」と、2010年に結成した加古隆カルテットの新作「QUARTET II」が同時発表された。

自身が音楽を担当した今年公開の映画は、「家路」(久保田直監督)、「蝸の記」(小泉堯史監督)。

HP <http://www.takashikako.com/>

加古隆 ソロ・コンサート2014 ~クレーと北斎を弾く~

9月26日(金)19:00開演 **札幌コンサートホール Kitara 小ホール**
☎011-612-8696(オフィス・ワン) ■全席指定:¥6,000 特別協力:TVhテレビ北海道

10月5日(日)15:00開演 **大阪:いずみホール**
☎06-7732-8888(キョードーインフォメーション) ■全席指定:¥6,000 主催:キョードー大阪

10月11日(土)15:00開演 **東京:サントリーホール**
☎0570-550-799(キョードー東京) ■S席:¥6,500/A席:¥5,500 主催:キョードー東京

11月24日(月・祝)14:30開演 **名古屋:三井住友海上しらかわホール**
☎052-957-3333(中京テレビ事業) ■全席指定:¥6,000 主催:中京テレビ放送

デビュー40周年を記念して集成された
フリージャズ時代から近年の映像作品までを網羅した究極のアンソロジー・アルバム!

加古隆 | アンソロジー

加古隆 (作曲・ピアノ) CD2枚組 AVCL-25774~5 定価:¥3000(本体価格)+税 | 好評発売中|

DISC 1 | JAZZ

パラドックス/ナイト・ミュージック/
ドデック/マイクロ・ワールド/チトン
通り11番地/僧院の庭/スクロール

DISC 2 | POÉSIE

■ピアノ・ソロ作品 ポエジー/秋を告げる使者/ジブラルタルの風/アクア・ブルー
■TVのための作品 パリは燃えているか/黄昏のワルツ/白い巨塔/フェニックス
■映画のための作品 大河の一滴/風のワルツ/博士の愛した数式~愛のテーマ~/
明日への遺言/最後の忠臣蔵~夢なれど~

